



## 研究部会報告

### ●理財工学●

・第13回

日時：7月24日(金) 19:00~21:00

出席者：39名

場所：東京工業大学 百周年記念館3階フェライト会議室

テーマと講師：

(1)「A Robustness of Quantile-Hedging : Complete-Market's Case」

関根 順 (MTB インベストメントテクノロジー研究所)

本発表では、まず Follmer and Leukert (1988) が提案した新しい Quantile-Hedging (Dynamic version of VaR) のアイデアを紹介し、このアイデアを利用して3つの問題を定式化した。そして、その解法について示し、さらに robust 性の観点から議論を行った。

(2)「債券オプションの実証分析」

鈴木茂央 (日興証券株式会社 投資工学研究所)

本発表では、債券の店頭オプションと先物オプションのデータを利用して、オプション・プレミアムに関する実証分析を行った。コスト要因とボラティリティ要因を考慮し、市場プレミアムが適切か、ヘッジが可能かどうかを検討した。さらに、離散時間のヘッジの誤差についての議論を行った。

### ●システムの最適化と OR ●

・第6回

日時：7月25日(土) 14:00~17:00

出席者：18名

場所：富山県立大学 電子情報工学科会議室 (研究棟4階)

テーマと講師：

(1)「Accumulation Game について」

菊田健作 (神戸商科大学管理科学科)

Accumulation Game は査察 (Inspection) あるいは検証の1つの数学モデルである。2人の Players

(Hider と Seeker) と、 $n$ 個の箱があり、毎回 Hider は1個の object を  $n$ 個の箱のうち、空である箱のいずれかに隠し、Seeker は1個の箱を調べる。ここでは、Seeker が object を見つけたときのみ、Hider は Seeker が調べた箱の番号を知ることができるような場合の Hider の勝ちに関する解析結果が報告された。

(2)「ファジィ線形計画問題の最適値の可能性分布について」 桑野裕昭 (金沢学院短期大学)

筆者らがファジィ線形計画問題に対して定義した、ファジネスを含む  $\alpha$ -最適値  $\bar{Z}(\alpha)$  は Karush-Kuhn-Tucker 条件をファジィ線形計画問題へと一般化した適合性の条件を満たす  $\alpha$ -最適解によって得られる可能性変数であった。本報告では、その  $\alpha$ -最適値  $\bar{Z}(\alpha)$  の特徴づけを可能性および必然性に基づく可能性変数の順序関係を制約式に持つ2目的計画問題によって行うことができることが示された。

### 会 員 計 報

門山 允氏 (元東京国際大学教授)

平成10年8月19日、入院加療中のところご逝去されました。享年76才。

謹んでご冥福をお祈りいたします。

### 会 員 計 報

八巻直躬氏 (フェロー, 元理事, 元評議員)

平成10年8月23日、入院加療中のところご逝去されました。享年85才。

謹んでご冥福をお祈りいたします。

### ●平成10年度会費納入のお願い(事務局)

平成10年度の会費につきましては、すでに請求書をお送りさせていただいておりますが、未納の方はお早めにご送金くださるようお願いいたします。なお、9年度の会費につきましても未納の方は合わせてお支払いくださるようお願いいたします。

〔預金口座振替ご利用の方へ〕

平成10年度から預金口座振替をご希望の正会員の方は、学会事務局まで TEL, FAX, 郵便にてご連絡ください。折り返し預金口座振替依頼書をお送りいたします。